

施策評価表

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（課長等）	2年 7月 15日
2次評価日（部長等）	2年 7月 27日

1 施策の概要

施策名	自然環境の保全	コード	11-1
この施策の主な内容	地球温暖化の防止、地域の特性に応じた自然環境の保全、自然とのふれあいの推進		
第5次総合計画におけるこの施策の目的	岡谷市の望ましい環境像「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」の実現のため、環境保全を推進するための施策を展開する。		
担当部課	部 市民環境部	課等 環境課	作成者 伊藤 雅章

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

* 第5次総合計画における目標指標の達成状況（前期基本計画：元年度～5年度）

①	施策指標名	単位	29年度	30年度	元年度		2年度	5年度	
			実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
	二酸化炭素排出量	t-CO2	366	310	319	315	98.7%	304	304
	指標説明	岡谷市における二酸化炭素排出量。平成29年度は環境省より公表された実績。平成30年度、令和元年度は岡谷市が算出した概算数値。							
②							-		
	指標説明								

3 施策全体にかかる合計コストの推移

* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
直接事業費	3,480	4,046	3,895	3,336
人件費	11,600	11,600	11,600	11,600
合計コスト	15,080	15,646	15,495	14,936

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

* 元年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

地球温暖化などの環境問題は、多くの市民が関心を持っており、環境に対する意識は年々高まっており、緑のカーテンなど家庭で出来る取り組みも広がっている。また、事業所などでも対策に取り組んでいることから、岡谷市における二酸化炭素排出量は減少傾向にあるが、地球温暖化対策実行計画に掲げた目標の達成は困難な状況であり、引き続き二酸化炭素排出量削減に向けた取り組みを推進していく必要がある。

こどもエコクラブ等を通じて、子どもたちが自然に親しみ、環境への関心を高めることができた。子どもの頃から自然環境に触れる事は重要であることから、事業を継続していく必要がある。

* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	平成18年度に経験した豪雨災害をはじめ、全国で豪雨等による自然災害が発生しており、昨今は生命の危険を生じるほどの猛暑を体験していることから、異常気象、地球温暖化への関心は高い。市街地に近接して、山・川・湖があり、自然に親しむ環境が整っている。
岡谷市の弱み	

5 今後の外部環境の変化

* 令和3年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の閣議決定。 第4次環境基本計画（R2～H6）の策定、推進 諏訪湖創生ビジョンの策定
不利に働くもの	

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 令和3年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

*優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 *見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	地球温暖化防止などの地球環境問題は、市民一人ひとりが問題意識を持って取り組むことが重要である。行政はこの問題について市民に周知することにより、市民が意識を高め、環境問題への取り組みを促進するため、環境市民会議おかやとの連携を強化し、環境保全推進事業を推進するとともに、新たな再生可能エネルギーの利用、省エネルギー化についても研究を進める。 子どもの頃から自然に親しむことにより、環境への関心を高め、将来の自然環境の保全につなげていけるように、こどもエコクラブなどの子どもが参加する環境団体への参加をお願いしていく。
見直しを行う分野	地球温暖化防止実行計画の見直し。 子どもが自然や環境を学ぶきっかけとなる活動を幅広く支援していく。

●令和3年度の優先度

*方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費			人件費			妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	29年度	29年度	29年度						
							30年度	30年度	30年度						
							元年度	元年度	元年度						
2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)													
1		一般	なし	環境保全推進事業	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数	回	12	3,104	8,000	高い	継続して実施	B：現状維持			
							12	3,659	8,000						
							12	3,594	8,000						
							6	2,915	8,000						
2		一般	なし	自然環境保全事業	こどもエコクラブ延べ参加者数	人	300	376	3,600	高い	継続して実施	B：現状維持			
							300	387	3,600						
							300	301	3,600						
							580	421	3,600						
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															